



高水地協ニュース

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 小林 君男

○ 編集責任者 岩本 淳一

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

2015 春闘勝利総決起集会を開催

「月例賃金引き上げ」「底上げ・底支えと格差是正」「長時間労働縮減」
「地域経済好循環の実現」にこだわる決意をもって闘争を展開しよう！

全国の主要大手組合が春季闘争の山場を迎える中、追従する地協構成単組の団結と情報交換をはかるとともに、本闘争の勝利に向けた意識の高揚を醸成するため、各地連において連合運動と連携する地域労働団体との共催により「2015 春闘勝利総決起集会」を開催しました。また、各会場へは連合長野の中山会長が出席し、激励挨拶をいただきました。

<北信地連>

日 時：2015年3月4日(水) 午後6時30分～

会 場：中野市勤労者福祉センター(屋内)

決意表明：しなの富士通労組、農団労北信州みゆき労組、
長野電鉄労組、野沢温泉村職員労組

参加規模：他団体を含め18組合・441名

<須高地連>

日 時：2015年3月11日(水) 午後6時15分～

会 場：須坂市役所多目的広場(野外)

決意表明：長野電鉄労組、県教組上高井支部

参加規模：他団体を含め13組合・450名

本紙では、総決起集会で採択された「2015 春季生活闘争総決起集会アピール」について掲載します。

<2015 春季生活闘争北信(須高)地区総決起集会アピール>

我々は本集会で、「全ての組合が月例賃金の引き上げに拘る」「全ての働く者の底上げ・底支え、格差是正に拘る」「長時間労働の縮減に拘る」「地域経済の好循環の実現に拘る」決意を確認した。そのうえで改めて次の点を主張し交渉のヤマ場に臨む。

全ての労働組合が、継続的かつ安定的な月例賃金の引き上げを実現しなければならない。そのことが、我慢の限界を超えている規模間格差問題をはじめとする様々な格差是正や非正規労働者の処遇の改善など、傷んだ雇用と労働条件の改善に繋がる社会的な運動となる。加えて、物価上昇局面において実質賃金の維持を図ることが必要であることを強く主張する。



須高集会へ参加した構成単組の役員・組合員

この後、須高集会は須坂駅前までデモ行進を行いました。



北信集会へ参加した構成単組の役員・組合員

経営側は、経済の好循環実現に向けた労使の役割を認識しつつも、私たちが掲げた月例賃金の2%以上の賃上げ要求を「納得性が高いとはいえない」などと批判し、個別企業の労使交渉に当たっては「総額人件費管理の徹底・支払能力論重視」など、従前の姿勢を大きく変えていない。

ミクロの論理に埋没し停滞に甘んじるのか、あるいはマクロの観点に立ち経済の回復のスタートラインに立つのか、2015 春季生活闘争は分水嶺ともいえる闘いである。我々は「人への投資」が産業・企業の成長に繋がり、経済の好循環に結びつくものであることを強く主張する。

現在、政府内で検討されている「成長戦略」の具体策では、雇用をはじめとする規制緩和が大きな眼目として掲げられている。働くことの最低限の基準すら蔑ろにし、雇用の安定性を損なうような政策は働く者・生活者の将来不安を増幅し労働の質に悪影響を及ぼすことに繋がる。「労働者保護ルール改悪」の政策は、我が国の成長にむしろ水を差す愚策であり、断固対峙していかねばならない。また、働く者の生活水準の向上を果たす観点では、「働くことを軸とする安心社会」を支える税・社会保険料といった支出サイドについても、働く者の立場から意見反映をしていく必要がある。

社会保障と税の一体改革の着実な前進や非正規労働者の均等・均衡処遇確立の取り組みを強力に進め、今国会における最重点法案として位置づけた7法案を中心に、政策・制度実現の取り組みを社会的に広がりのある運動として展開する。

2015 春季生活闘争はいよいよ大詰めを迎える。全ての組合が月例賃金要求を掲げ、粘り強い交渉を積み重ねる以外、この闘争に成功は訪れないことを共に確認し合おうではないか。我々は正規・非正規、組織・未組織、企業規模に関わらず全ての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、社会的賃金決定メカニズムとしての春季生活闘争を力強く推進する。総力を結集しともに闘おう！

2015 春季生活闘争北信(須高)地区総決起集会

2015 学習交流会（春闘開始宣言集会）の開催



ユニオンスクールに参加する構成単組の組合員

第2回ユニオンスクール終了後に、同会場において「2015 学習交流会（春闘開始宣言集会）」を開催しました。

開会挨拶に立った小林議長は、「2015 春季生活闘争がいよいよ始まる。それぞれの単組は、産別方針を基本に要求案づくりや闘争日程に沿った取り組みとなるが、シッカリと労使交渉をやり尽くしていただきたい。いま政府は、株価の上昇などを引き合いに出し、アベノミクスの効果を強調しているが、円安や株高などで潤っているのは一部の企業や裕福層に限られており、その恩恵は多くの働く者・国民には波及しておらず、国民の生活は改善されないまま雇用の不安と低所得

に苦しむ働く人々が増加している。また、労働者保護ルールに“岩盤規制”とレッテルを貼り、その改悪が検討されるなど、働く者を踏み台にした国づくりが進められようとしている。さらに、負担を分かち合いながら、持続可能な全世代支援型社会保障制度の確立をめざしてきた社会保障と税の一体改革も足踏み状態である。加えて、年金積立金について労使の意向を無視した運用を行っている。このような中で迎える2015 春季生活闘争は賃上げ、時短、政策・制度要求の実現の取り組みを通じ、デフレからの脱却と新しいサイクルでの経済の好循環実現を図る戦いである。デフレに終止符を打ち、日本経済を持続可能な成長軌道に乗せることができるのか、あるいは賃金水準が停滞し物価だけが上昇する悪いインフレに陥るのか、本闘争は日本の将来を左右する分水嶺といっても過言ではない。そのためにも、私たちがシッカリと団結し組合員から“良くやってくれた”と評価される闘争をめざして頑張っていこう」と述べました。

この後、参加した単組代表者から現下の企業（団体）情勢や闘争を取り巻く環境について報告してもらい、相互交流と意見交換を行いました。最後に、小林議長の発声により「春季闘争の勝利に向けて団結がんばろう」を三唱し交流会を閉会しました。

日 時：2015年2月14日（土）午後4時より

会 場：魚がし（中野市内）

参加者：58名（25単組・地協職員）

県議会議員選挙への取り組み

2月16日付の機関紙（号外）にて構成単組の皆さんに広報している通り、長野県議会議員選挙は4月3日（金）告示・12日投開票の日程で施行されます。当地協は、立候補予定者の連合長野が推薦する小林東一郎県議（中野市・下高井郡区）および日頃から連携を深めている永井一雄県議（須坂市・上高井郡区）の必勝に向けて、最大限の取り組みを展開することを確認しています。

各選挙区の出馬動向をみると、先ず中野市・下高井郡区では定数2名に対して、小林県議のほか保守系現職と新人の三

つ巴の戦いが濃厚であり、一方の須坂市・上高井郡区についても定数2名に対して、永井県議のほか保守系現職と新人に加えて共産党新人が名乗りを上げた4名の戦いが濃厚という、各選挙区とも『激戦』になることは間違いありません。

本紙では、地協が参画した各陣営における告示日前の前哨戦の取り組みについて紹介するとともに、構成単組の皆さんには4月12日の投票箱の蓋が閉まるまで、是非とも『小林東一郎』『永井一雄』両氏に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<選挙区>

中野市・下高井郡



長野県議会議員（現職）
無所属改革クラブ
当選回数：2回
〒383-0033
中野市大字間山 719
Tel.0269-23-0124

小林東一郎

<選挙区>

須坂市・上高井郡



長野県議会議員（現職）
無所属改革クラブ
当選回数：3回
〒382-0099
須坂市墨坂 4丁目 8-23
Tel.026-245-8658

永井 一雄

◎単組訪問による両氏への支援・協力要請を行う

2月16日には、両候補予定者に同伴して当地協構成単組を訪問し、選挙戦に臨む決意を述べるとともに、選挙戦を取り巻く情勢報告やリーフレットの配布、後援会加入への取り組み依頼、単組での具体的な支援活動についての要請などを行ってきました。また、翌日（17日）は長野市にある電機連合産別の大手組合を訪問し、支援要請を行いました。

各単組役員からは、「議員の日常活動や労働者・生活者の

立場での活躍については賛同・期待しており、議員に相応しい人物であることは間違いありません。連合長野推薦および地協との連携を深めている議員の支援として、本選挙戦の必勝に向けてのために組合員はもとより、経営側やパートさんにも支援・協力の輪を拡大する取り組みなど、単組での精一杯の活動を展開していきたい。地協は単組・組合員に注目される積極的な取り組みを推進してほしい」と激励を受けました。

◎後援会事務所開きが開催される

2月14日は、永井県議の選挙事務所（須坂駅前シルキー1階）で開催された後援会事務所開き式典へ岩本副議長が出席するとともに、3月1日は小林県議の選挙事務所（中野市松川の松川ビル）での後援会事務所開き式典には本間議長代行が出席し、それぞれ地協を代表して挨拶しました。

挨拶に立った本間議長代行は、地協での取り組みについて紹介するとともに、「告示日まで残り1カ月と、日ごとに少なくなってきた。この前哨戦で期日前投票への呼び掛けを含め、“いかに投票率を上げられるか”が私どもの最大の課題だと捉えており、このことを構成単組がしっかりと取り組んでもらえるよう、適宜に要請行動を展開していきたい。いま国政の動きをみれば、労働法制改悪の方向に進めていると



挨拶する本間議長代行



選挙戦に向けて決意表明する小林東一郎県議

言わざるを得ない。こうした危機的状況のなか、先ずは県政から、そして国政に労働者・生活者の現実の声が届く、国民主権の政治が強く求められおり、小林県議はまさにその一翼を担う立場の議員として、私たちの総力を結集し再び県議会に立つてもらうよう、地協として精一杯取り組んでいくことを約束したい」旨を表明しました。

須坂市議会議員選挙

岩田・宮坂両氏が再選を果たす

任期満了に伴う須坂市議会議員選挙は、1月25日の告示で定数20名に対し21名の立候補者が出揃い、2月1日の投票日に向けて少数激戦の選挙戦となりました。

地協では、日頃から地域の労働問題や議会とのパイプ役として連携を深めている岩田修二・宮坂成一両氏を組織推薦するとともに、年が明けた1月10日の幹事会においては、これまでの経緯を踏まえた各推薦者の支援労組の振り分けと「連合4運動」の周知、地協における支援の広報活動（号外の発行等）、そして何より各単組での取り組むべき活動について意見交換し、両氏の必勝に向けて意思統一をはかり選挙戦に臨んできました。

選挙期間中の積極的なご支援の取り組みにより、お陰様で両候補者ともに再選を果たすことができ、高水地協構成単組の役員・組合員の皆様に心から感謝を申し上げます。

さて選挙戦は、告示日の一週間前まで「無投票の公算が大きい」との情勢で推移しましたが、最終的には1名超過で選挙が施行されることとなり、新人候補者にはこれからの議員活動に期待が持てる人に、一方で現職議員（候補者）にとっては、これまでの議員活動や実績に対して『市民の審判を受ける』という本来の目的が明確になるはずでした。



当選の喜びを述べる岩田修二議員



当選祝いに乾杯する宮坂成一議員ご夫妻

しかし、投票率は49.18%と前回（2011年）の57.98%を大きく下回り、極論すれば「まさに須坂市民は市議会議員に興味を示していない」と言わざるを得ません。過激な言い方ですが、多くの議員は議会で発言もせず、理事者側が提示した案件に只々賛成するばかりで「居心地が良い場所（議員）に4年間は居座れる」としか映らないのは私の思いだけでしょうか。

岩田・宮坂両氏は、私たちとの活動の連携をはじめ、広く市民の期待に応える人物であり、こうした須坂市の議会全体が疲弊する現況を踏まえ、広く市民の付託（代弁者）に応えられる議員集団の構築が求められる中で、議論が深められる議会への改革をはじめ、今後も両氏が先頭に立って活躍しなければならぬ場面が多いものと予想されますので、岩田・宮坂両議員に対するより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

【推薦候補者の選挙結果】

（立候補者21名・定数20名）

宮坂 成一	獲得票数 1,579 票	3期目の当選（第1位）
岩田 修二	獲得票数 840 票	4期目の当選（第13位）

加盟単組紹介

◇ 飯山市職員労働組合 ◇

飯山市職員労働組合は、戦後の昭和29年8月の町村合併促進法の施行により飯山市が誕生した際に当時の職員で発足し、今年で60周年を迎えました。その間、地方自治を担う一員として、また、組合員とその家族を守る一員として活動してきましたが、他の市町村と同様に、団塊の世代の退職補充をしないという形で職員が減少し、現在、市としては県内最小の組合員219名となっています。

特に保育所では、正規職員の2倍から3倍の非正規職員で運営している状況が長年続いており、子育て支援等の拡充が求められている中で苦しい運営が続いています。また、その他の業務でも、賃金下落と人員削減が進む状況下において、公共サービスを維持していくため組合員個々の負担が増大しています。今後さらに業務の専門化、細分化が図られることが予想され、それに対応する人材確保が課題となっています。

そんな（重苦しい）雰囲気の中、北陸新幹線金沢延伸に伴い平成27年3月14日に新幹線飯山駅が開業します。このため、数年前から広域観光に重点を置いた政策を展開し、飯山駅を

ハブ駅とした周辺9市町村と連携して「信越自然郷」⇄⇄⇄
<http://www.shinetsu-shizenkyo.com/> を立ち上げ、豊かな自然を活用した様々な観光メニューの提供を行っています。それに伴い、駅周辺整備や受け入れ体制の整備を市民の皆様と一緒に進めています。是非、ご旅行や出張の際は飯山駅のご利用をお願いします!!!

（執筆：地協事務局長 小林 東一）



北信濃ロマン街道親子ふれあいフリーパス券販売のお知らせ

北信地域の労働団体による“皆で残そう公共交通”“育てよう笑顔をつなぐ公共交通”の勤労者アピールと公共交通の利用拡大を目的に、毎年メーデー開催の時期（5月連休）に利用できる『北信濃ロマン街道親子ふれあいフリーパス券』の販売について実行委員会（長野・須高・北信の各地区労福協、連合長野の長野・高水地協、長野県労働金庫本店営業部および長野東・更埴・須坂・中野各支店、全労済長野支所で構成）の会議を開き、長野電鉄・アルピコ川中島バスの受入環境（公共性の高い運輸事業においては、より透明性のある事業活動を求められているなか、特定団体への割引乗車券販売は公正性の観点から認められないことが、近年明白になってきている等）を踏まえて誠意検討し、次の通り決定しましたのでお知らせ致します。

◎長野電鉄（電車）フリーパス券

通常販売されている「電車2日間乗り放題!! 長電フリー乗車券」（通常価格2,320円）を購入し、フリーパス券として販売致します。本券は、発行日より1年間の範囲で「連続した2日間」利用できるものです。特急料金は含みません。

◎アルピコ交通（路線バス）フリーパス券

従来通り、実行委員会で発券し販売致します。利用期間は5月1日～5月6日で、路線バス乗り放題です。

◎販売価格について

これまでの販売価格を念頭に検討しましたが、手数料を除く予定仕入価格との差額（昨年実績試算で約30万円）が多額であり、その分は実行委員会からの持ち出しとなることから、来年以降の継続実施を踏まえて決定したものです。

長電・アルピコ交通ともに

▶大人券 1,600円 ▶子供券 800円

なお、実行委員会ではアルピコ交通分のみが発券となるため、昨年実施した「グランドシネマ割引」の特典サービスなどを停止させていただくとともに、昨年より大人券300円（子供券150円）の増額となりますが、実行委員会での検討経過をご理解のうえ、本会の目的にご賛同いただいて、大勢の皆様のご購入をお願い致します。

【発売期間 4月1日～24日／所属労組でお買い求めください】

編集後記

川崎中1殺害事件の残虐な犯罪、淡路島の男女5人殺害の事件など、最近とみに極悪非道な犯罪が多発しています。加えて、インターネットタレントと自称する馬鹿な連中が、犯罪行為や度を越えた動画をYouTubeなどに配信するような出来事が後を絶たず、とても悲しく残念なことです。

昔、中国の孔子が「生きるための戒め」として人々に数多くの論語を残してきました。今のこんな世知辛い世の中に生きる私たちは、もう一度「孔子の教え」を振り返り、その意味をしっかりと理解し、教訓として心に刻んで生きていく必要があると思います。編集後記では、紙面の都合により2点ほど孔子の論語を紹介します。

義を見て為さざるは、勇無きなり

今、自分が為すべき正しいことを知っていながら、それを実行しないようでは、勇気のない臆病者である。自分が正しいと思う事を行なうのは、時に勇気が必要だが、もしそこで足が竦んでしまうようでは君子（リーダー）とは言えない。

人の己を知らざるを患（うれ）えず、己の人を知らざるを患う

他人が自分を気にかけないことよりも、他人を理解する懐の深さに欠ける自分を憂うべきだ。孔子の人生はまさに不遇の連続であったが、自分よりも他人を思いやる器の大きさを持っていた。思いやりの心が大人物をつくるのだ。

